



所有者とリージョンの管理

この章では、DHCPアドレスブロック、サブネット、プレフィックス、リンク、およびゾーンに適用できる所有者とリージョンを設定する方法について説明します。

- [所有者の管理 \(1 ページ\)](#)
- [リージョンの管理 \(2 ページ\)](#)
- [所有者とリージョンの一元管理 \(3 ページ\)](#)

所有者の管理

アドレスブロック、サブネット、プレフィックス、リンク、およびゾーンに関連付ける所有者を作成できます。1つのページで所有者を一覧表示したり、追加したりすることができます。所有者を作成するには、タグ名、氏名、および連絡先名を作成する必要があります。

ローカル詳細およびリージョン詳細 Web UI

- ステップ 1** [管理 (**Administration**)] メニューから、[設定 (**Settings**)] サブメニューの [所有者 (**Owners**)] を選択して、[所有者の一覧表示/追加 (**List/Add Owners**)] ページを開きます。リージョンクラスタには、プル機能とプッシュ機能も含まれています。
 - ステップ 2** 左側の [所有者 (**Owners**)] ペインで、[所有者の追加 (**Add Owners**)] アイコンをクリックします。[所有者の追加 (**Add Owner**)] ページが開きます。
 - ステップ 3** 一意の所有者タグを入力します。
 - ステップ 4** 所有者名を入力します。
 - ステップ 5** オプションの連絡先名を入力します。
 - ステップ 6** **Add Owner** をクリックします。
 - ステップ 7** 所有者を編集するには、左側の [所有者 (**Owners**)] ペインで、その所有者の名前をクリックします。
-

CLI コマンド

所有者を作成するには、**owner tag create name [attribute=value]** を使用します。次に例を示します。

```
nrcmd> owner owner-1 create "First Owner" contact="Contact at owner-1"
```

地域クラスターに接続すると、次のプル、プッシュ、および再利用のコマンドを使用できます。プッシュおよび再使用の場合は、クラスターのリストまたは「すべて」を指定できます。

- **owner < tag | all > pull < ensure | replace | exact > cluster-name [-report-only | -report]**
- **owner < tag | all > push < ensure | replace | exact > cluster-list [-report-only | -report]**
- **owner tag reclaim cluster-list [-report-only | -report]**

リージョンの管理

アドレスブロック、サブネット、プレフィックス、リンク、およびゾーンに関連付けるリージョンを作成できます。1つのページにリージョンを一覧表示したり、追加したりすることができます。リージョンを作成するには、タグ名、フルネーム、および連絡先名を作成する必要があります。

ローカル詳細およびリージョン詳細 Web UI

ステップ 1 Administration メニューから、**Settings**サブメニューの **Regions** を選択して、[リージョンの一覧表示/追加 (List/Add Regions)] ページを開きます。リージョン クラスターには、プル機能とプッシュ機能も含まれています。

ステップ 2 左側の [リージョン (Regions)] ペインで、[リージョンの追加 (Add Regions)] アイコンをクリックします。

ステップ 3 一意のリージョン タグを入力します。

ステップ 4 リージョン名を入力します。

ステップ 5 オプションの連絡先名を入力します。

ステップ 6 Add Region をクリックします。

ステップ 7 リージョンを編集するには、左側の [リージョン (Regions)] ペインでその領域の名前をクリックします。

CLI コマンド

region tag create name [attribute=value] を使用します。次に例を示します。

```
nrcmd> region region-1 create "Boston Region" contact="Contact at region-1"
```

地域クラスターに接続すると、次のプル、プッシュ、および再利用のコマンドを使用できます。プッシュおよび再使用の場合は、クラスターのリストまたは「すべて」を指定できます。

- `region < tag | all > pull < ensure | replace | exact > cluster-name [-report-only | -report]`
- `region < tag | all > push < ensure | replace | exact > cluster-list [-report-only | -report]`
- `region tag reclaim cluster-list [-report-only | -report]`

所有者とリージョンの一元管理

リージョンまたはローカル CCM 管理者として、次のことができます。

- 所有者とリージョンをローカル クラスタにプッシュします。
- ローカル クラスタの所有者とリージョンを中央クラスタにプルします。

これらの各機能には、少なくとも 1 つのリージョン CCM 管理者サブロールが定義されている必要があります ([ロール](#)、[サブロール](#)、[および制約](#)を参照)。

次の表に、これらの操作に必要なサブロールを示します。

表 1: 集中管理者管理に必要なサブロール

集中管理者管理アクション	必要なリージョン サブロール
所有者またはリージョンの作成、変更、プル、プッシュ、または削除	owner-region

関連項目

[所有者またはリージョンのプッシュとプル \(3 ページ\)](#)

所有者またはリージョンのプッシュとプル

リージョン クラスタ Web UI の [所有者の一覧表示/追加 (List/Add Owners)] ページまたは [リージョンの一覧表示/追加 (List/Add Regions)] ページで、所有者またはリージョンをローカル クラスタにプッシュしたり、プルしたりすることができます。

関連項目

[ローカル クラスタへの所有者またはリージョンのプッシュ \(3 ページ\)](#)

[レプリカ データベースからの所有者とリージョンのプル \(4 ページ\)](#)

ローカル クラスタへの所有者またはリージョンのプッシュ

所有者またはリージョンをローカル クラスタにプッシュするには、1 つ以上のクラスタとプッシュモードを選択する必要があります。

リージョン Web UI

ステップ 1 Administration メニューから **Settings** サブメニューの **Owners** または **Regions** を選択します。

ステップ 2 [所有者の一覧表示/追加 (List/add Owners)] または [リージョンの一覧表示/追加 (List/Add Regions)] ページで、左側のペインの **Push All** アイコンをクリックするか、または特定の所有者またはリージョンの [所有者の編集 (Edit Owner)] ページまたは [リージョンの編集 (Edit Region)] ページの上部にある **Push** をクリックします。[所有者のプッシュ (Push Owner)] または [リージョンのプッシュ (Push Region)] ページが開きます。

ステップ 3 [データ同期モード (Data Synchronization Mode)] ラジオ ボタンのいずれかを使用して、プッシュ モードを選択します。

- すべての所有者またはリージョンをプッシュする場合は、[保証 (Ensure)]、[置換 (Replace)]、または [完全 (Exact)] を選択できます。
- 1 つの所有者またはリージョンをプッシュする場合は、[保証 (Ensure)] または [置換 (Replace)] を選択できます。

上記のいずれの場合も、[保証 (Ensure)] がデフォルトのモードです。

ローカルクラスタの既存の所有者またはリージョンデータを置き換える場合のみ、[置換 (Replace)] を選択します。ローカル クラスタで所有者またはリージョン データの正確なコピーを作成し、リージョンクラスタで定義されていないすべての所有者またはリージョンを削除する場合にのみ、[完全 (Exact)] を選択します。

ステップ 4 デスティネーションクラスタの [使用可能 (Available)] フィールドで 1 つ以上のローカル クラスタを選択し、それらを [選択済み (Selected)] フィールドに移動します。

ステップ 5 [クラスタへのデータのプッシュ (**Push Data to Clusters**)] をクリックします。

ステップ 6 [プッシュ所有者データ レポートの表示 (View Push Owner Data Report)] または [プッシュリージョンデータ レポートの表示 (View Push Region Data Report)] ページでプッシュの詳細を確認し、**OK** をクリックして、[所有者の一覧表示/追加 (List/Add Owners)] または [リージョンの一覧表示/追加 (List/Add Regions)] ページに戻ります。

CLI コマンド

リージョンクラスタに接続されている場合は、次の `push` コマンドを使用できます。push コマンドでは、クラスタのリストまたは「all」を指定できます。

- `owner < tag | all > push < ensure | replace | exact > cluster-list [-report-only | -report]`
- `region < tag | all > push < ensure | replace | exact > cluster-list [-report-only | -report]`

レプリカ データベースからの所有者とリージョンのプル

所有者またはリージョンをプルするとき、実際にはリージョンクラスタのレプリカデータベースからプルします。ローカルクラスタの作成では、最初にデータが複製され、定期的なポーリ

ングによって複製が自動的に更新されます。ただし、レプリカ データがローカル クラスタと完全に最新であることを確実にするには、データをプルする前に強制的に更新できます。

リージョン Web UI

- ステップ 1** リージョン クラスタ Web UI の [管理 (Administration)] メニューから、[設定 (Settings)] サブメニューの [所有者 (Owners)] または [リージョン (Regions)] を選択します。
- ステップ 2** [所有者の一覧表示/追加 (List/add Owners)] または [リージョンの一覧表示/追加 (List/Add Regions)] ページで、左側のペインの [データのプル (Pull Data)] アイコンをクリックします。[プルするレプリカ所有者データの選択 (Select Replica Owner Data to Pull)] または [プルするレプリカ リージョンデータの選択 (Select Replica Region Data to Pull)] ページが開きます。
- ステップ 3** クラスタの [レプリカデータのアップデート (Update Replica Data)] 列の [複製 (Replicate)] アイコンをクリックします。(自動複製間隔については、[ローカル クラスタ データの複製](#)を参照してください)。
- ステップ 4** [モード (Mode)] ラジオ ボタンのいずれかを使用して、複製モードを選択します。
ローカル クラスタの既存の所有者またはリージョンのプロパティを保持するには、[保証 (Ensure)] を選択しますが、それ以外の場合は、デフォルトの [置換 (Replace)] モードのままにします。
(注) [完全 (Exact)] を選択して、ローカル クラスタの所有者またはリージョンデータの正確なコピーを作成することはお勧めしません。
- ステップ 5** クラスタの横にある **Pull All Owners** または **Pull All Regions** をクリックするか、クラスタ名を展開して、**Pull Owner** または **Pull Region** をクリックして、クラスタ内の個々の所有者またはリージョンをプルします。
- ステップ 6** [レプリカ所有者のプルの報告 (Report Pull Replica Owners)] または [レプリカ リージョンのプルの報告 (Report Pull Replica Regions)] ページで、**Run** をクリックします。
- ステップ 7** [レプリカ所有者のプルの実行 (Run Pull Replica Owners)] または [レプリカ リージョンのプルの実行 (Run Pull Replica Region)] ページで、変更設定データを確認し、**OK** をクリックします。[所有者の一覧表示/追加 (List/Add Owners)] または [リージョンの一覧表示/追加 (List/Add Regions)] ページに戻ると、プルした所有者またはリージョンがリストに追加されています。

CLI コマンド

リージョン クラスタに接続されている場合は、次の pull コマンドを使用できます。

- **owner** < tag | all > **pull** < ensure | replace | exact > cluster-name [-report-only | -report]
- **region** < tag | all > **pull** < ensure | replace | exact > cluster-name [-report-only | -report]

